

平26年度 地域発元気づくり支援金事業総括書

事業名	白樺高原でエコツーリズムを展開する事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人蓼科白樺高原観光協会 (〒384-2309 北佐久郡立科町芦田八ヶ野 1045 http://shirakabakogen.jp/)
事業区分	(5)環境保全景観形成に関する事業 (6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,389,500円(うち支援金:1,001,000円)

事業内容

白樺高原は八ヶ岳中信高原国定公園の中心に位置し、豊かな自然と環境に恵まれた素晴らしいところです。この自然の大切さを来訪する観光客に訴求し、地元民と共に環境保全を図りながら、魅力ある観光資源として地域産業振興につなげます。当地の“ヒメホテル自生地”と“星空観察”をキーワードに“エコツーリズム”事業を展開する。

事業効果

《イベントの実施》

- ①ヒメホテル祭り来場者 800名
(前年並み、問い合わせ増。ピーク時来訪者は微増)
- ②星空観望会イベント実施回数1回、参加者15名
(前年実績なし。有志による案内チームを組織。7・8月は曇天と霧によりイベント実施が予定通りできなかった。宿泊施設個別に案内パンフを使い宿泊客向け観察会を実施した。)

《看板の整備》

夜間の来訪となるため、弱い光の懐中電灯でヒメホテル説明が判別できるようになった。幹線道路からヒメホテル発生場所への入口がはっきりと認識できるようになり、来訪者が迷いにくくなった。

今後の取り組み

当地で林間学校やスキー学習を実施する小中学校が多数あり、環境保護について学習カリキュラムの一部に取り入れていただくよう提案を進めている。平成25年度より環境省の所管する「カーボンオフセット」事業に参加しており、カーボンオフセット寄付付き商品(宿泊・飲食・販売)やヒメホテル祭り、星空観望会、自然体験型プログラムへの参加を呼びかけていきます。貴重な自然に触れる機会を増やすことで自然環境保護意識の向上を図り、白樺高原を「自然を守り環境に優しいリゾート地」にする取り組みを進めます。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(活動写真)



【星空観察会スタッフ】

【目標・ねらい】

※自己評価 【 B 】

- ①ヒメホテル鑑賞と自生地保護の両立
- ②星空の体験機会創出
- ③案内スタッフの人材育成

【理由】

案内スタッフのスキル向上のための研修会が十分開催できなかった。